

# OKIU

*Magazine*

**vol.111**

2019 WINTER

沖縄国際大学 学報



02 特集1 History of 沖国大

08 特集2  
エイサーがつなく  
学生交流

12 OKIU青春白書  
～活躍する学生たち～

14 沖国大祭レポート

22 NEWS TOPICS  
ニュース・トピックス

26 インターンシップに  
チャレンジ!

30 奨学金Q&A

33 沖縄国際大学体育会  
および文化会

34 クラブ・サークル紹介

38 人事情報

39 入試広報  
サポーター募集

40 大学行事案内



岡 あすか

英米言語文化学科 3 年次

大学生生活は思っていたより多忙です。一つ一つの出来事が自信に繋がったり、落ち込むこともあるけれどモチベーションにもなり、常に充実した時間を過ごさせています。これから先もいろいろな経験ができると思うととても楽しみです!

# History of 沖国大



創立時の本学正門前

みなさんは沖縄国際大学の歴史について  
どれだけご存知でしょうか? 元々、沖縄に設置されていた  
二つの大学が統合されて誕生したこと。  
また、それに沖縄の本土復帰が関係していたこと、  
宜野湾区の地域住民の方々からの大学用地の提供など・・・。

現在、約5,500名の在学学生を抱え、  
これまでに約57,000名の卒業生を輩出してきた  
沖縄国際大学は、創立当初の様々な困難を乗り越え、  
今日に至っています。今回はそんな本学の歴史について、  
あらためてみなさんに知って頂くために紹介します。



大学建設用地現場説明

HISTORY  
OF OKIU

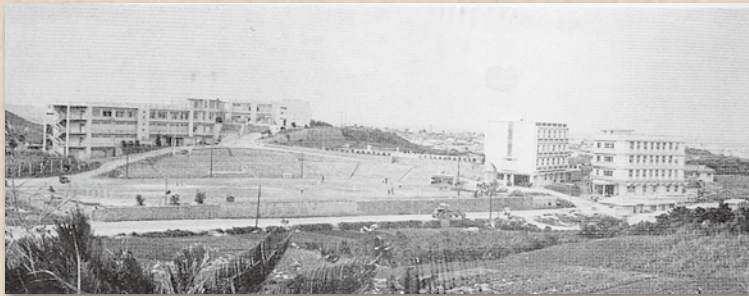
1969 ● 「日米共同声明」が発表され沖縄の日本復帰が決定的となる。

1971 ● 「沖縄返還協定」が調印され、琉球政府は本土の法令を沖縄に適用するための構想を発表する。

当時、アメリカの施政権下にあった沖縄には、私立大学として「沖縄大学(那覇市)」と「国際大学(旧コザ市)」が設置されていましたが、両校は大学設置基準の上でいろいろと困難な問題がありました。校地・校舎の狭隘や、学生数に対する教員数のバランス、財政の問題などです。そこで学部・学科構成が類似していた両校が統合へ向けて話し合いを進めていきましたが、意見が対立する案件もいくつか存在しました。その後、紆余曲折を経て「沖縄国際大学」として統合することになりましたが、最終的には沖縄大学の教職員、学生の約半数は沖縄大学に残り存続しました。



旧国際大学



旧沖縄大学

大学の用地については豊見城、那覇、浦添も候補地となっていました。費用や地形の問題で宜野湾市に絞られ、まとまった規模の土地があったことや交通の便の良さから、最終的に宜野湾区に決定されました。そこから大学は、宜野湾区地主の方々との用地購入交渉へ入っていきました。祖先伝来の土地を手放すことや、大学用地内にあった墓地を移転せねばならなかったことなど、様々な問題がありました。宜野湾区民の方々の教育への情熱と地域活性化への想いもあり、合意に至りました。



大学用地(造成前)

1972 ● 「沖縄国際大学」は、2月24日に当時の琉球政府の認可を得て、翌日の2月25日に創立。

1972 ● 4月1日に地域に開かれた大学として開学。

1972 ● 5月15日沖縄の本土復帰に伴い、学校教育法に規定する大学となる。

### 創立当初の学部学科構成

- 法 学 部 ..... 法学科
- 商 経 学 部 ..... 経済学科、商学科
- 文 学 部 ..... 国文学科、英文学科、社会学科  
※同じ構成で二部も存在
- 短期大学部 ..... 経済科、商科、国文科、英文科  
※同じ構成で二部も存在



開学式並びに第1回入学式の準備

1972 ● 第1回沖縄大祭



入学式の様子

1973 ● 第1回卒業式



校舎周辺にあった憩いのパーラー

1978 ● 南島文化研究所設立

HISTORY OF OKIU

1980 ● 校歌制定

沖繩国際大学校歌

作詞 屋嘉 宗克  
作曲 城間 繁

一、朝焼け雲に 緑映え

世紀の碧波(へきは) 澎湃(ほうはい)と

東支那海 見はるかし

宜野湾森に 聳(そび)え建つ

英知の学舎(にわ)に あい集い

使命は重し わが母校

おゝおきなわ 沖繩国際大学

二、咲くや梯梧(ライゴ)の花に似て

久遠の平和 守らんと

真理究むる 炬(ひ)をもちし

自由と自治を 仰ぎゆく

若き生命(いのち)を 育みて

自尊(ほこり)に燃ゆる わが母校

おゝおきなわ 沖繩国際大学

三、東西文化 寄する郷(さと)

いざ国際の 名にし負う

科学の扉 おし開き

鵬翼(ほうよく)のばし 天翔(あまかけ)る

自主独立の 意気高く

歴史を築く わが母校

おゝおきなわ 沖繩国際大学

2003 ● 大学院地域文化研究科 人間福祉専攻開設  
大学院法学研究科 法律学専攻開設

2004 ● 経済学部 経済学科、地域環境政策学科開設  
産業情報学部 企業システム学科、産業情報学科開設

2004 ● 本館ビルに米海兵隊所属  
CH53D型ヘリコプターが激突し、墜落・炎上

2009 ● 沖繩経済環境研究所設立

2011 ● 商経学部廃止

1991 ● 産業総合研究所設立

大学院開学

1997 ● 大学院地域文化研究科  
南島文化専攻開設

1997 ● 沖繩法政研究所設立

1998 ● 大学院地域産業研究科 地域産業専攻開設

1999 ● 大学院地域文化研究科 英米言語文化専攻開設  
短期大学部廃止

総合文化学部 人間福祉学科開設

2001 ● 「文学部 国文学科、英文学科、社会文化学科」を  
「総合文化学部 日本文化学科、英米言語文化学科、社会文化学科」に  
名称変更

2002 ● 法学部 地域行政学科開設  
「法学部 法学科」を「法学部 法律学科」に名称変更



大学院開学式

2019 ●



現在の正門前

在学生保護者、卒業生、学外のみなさまはもちろんのこと、今回は特に在学生のみなさんに本学の歴史を知ってもらうため、特集記事として掲載いたしました。自分が属する組織の歴史について目を向けることは、簡単なようで難しく、知っているようで知らないこともたくさんあると思います。これから、就職活動で企業の方々と接するとき、留学先で、または学外の友人にも、沖繩国際大学の歴史について話す機会があるかもしれません。自分の大学の歴史について話せる頼もしい在学生が少しでも増えてくれれば幸いです。

■もっと詳しく知りたい方は

「沖繩国際大学三十年史」

「大学創立と宜野湾区ー未来につなぐ地域と大学の連携ー」

※これら資料は本学図書館に所蔵しています。

HISTORY  
OF OKIU

# エイサーが つなぐ 学生交流

琉球風車×桜風エイサー



桜美林大学

本学のエイサーサークル「琉球風車(りゅうきゅうかじまやー)」(以下「琉風」)には、本学国内協定校の桜美林大学(東京都)に姉妹サークルがあります。その名も「桜風(おうかじ)エイサー」(以下、「桜風」)。国内留学制度をきっかけに始まった、両団体の交流は今年で10年を数えます。そして、今年は沖縄最大のエイサーまつりである「沖縄全島エイサーまつり」に合同で演舞し、学生団体としての出場を果たしました。

## 全島エイサーまつり



今回の特集では、琉風会長の玉那覇令雄さん、桜風副会長の遠藤紗也乃さん、そして桜風の立ち上げに携わった小野間昌和さん、美里将太さんにインタビューし、現在も続く両団体の学生交流の様子や交流を始めたころの想いなどを、いろいろとお伺いしました！

## 沖縄と東京

～エイサーを通じた学生交流～



桜美林大学  
LA学群4年次

**遠藤 紗也乃**

(えんどう さやの)

● 桜風エイサー副会長



沖縄国際大学 経済学部  
経済学科4年次(球陽高校出身)

**玉那覇 令雄**

(たまなは れお)

● 琉球風車会長

お話をお伺したのは、今年(2018年)の沖縄大祭の開催直前。沖縄大祭には桜風から多くのメンバーが応援に駆けつけているそうです。

琉風と桜風、どのような活動で交流しているのでしょうか？

**遠藤** ▶ 大学祭での合同演舞は毎年恒例ですね。逆に桜美林大学の大学祭でも琉風メンバーが応援に駆けつけてくれます。大学祭での合同演舞だけでなく、夏は沖縄合宿で交流を図ると同時に、「同じ踊りをする」という両団体として最も大切な振り合わせも行います。また、年度の初めには必ず「リーダー研修」を沖縄で合同開催し、それぞれのメンバーとの顔合わせや、エイサーについて一緒に学んでいます。1年に3回程度は皆で沖縄にきていますね。

お互いの大学祭やリーダー研修以外にも一緒に活動していることはありますか？

**玉那覇** ▶ 今年は、沖縄最大のエイサーまつり「沖縄全島エイサーまつり」にも合同で出演しましたよ。“学生だけで100人”の演舞を目標に、琉風側から桜風へ声をかけて実現しました。両団体揃っての練習もあまり時間が取れなかったのですが、とてもいい思い出になりました！

たくさんメンバーが何度も沖縄に足を運ぶのはいろいろ大変なことあるのでは？

**玉那覇** ▶ 今回は東京から駆けつけるメンバーのために、沖縄でも資金造成を行い、少しでも負担を減らせるようにと活動しました。OBや周りに呼びかけたり、道じゅねーを行うなど、寄付を募りました。ご協力いただいた皆さまには本当に感謝しています。おかげさまで全島エイサーまつりにも出場でき、また交流を深めることができました。

この10年の交流の中で、学生自身で試行錯誤しながら創りあげた、こうした交流のプログラムがあるからこそ、交流が途絶えず続いているコツなのかもしれませんね。

## 東京でも“琉球風車のエイサー”を

～試行錯誤の団体設立と今まで～



沖縄国際大学 総合文化学部  
社会文化学科2009年度卒

**美里 将太**

(みさと しょうた)

● 2008年度桜美林大学へ  
国内留学 琉球風車OB、  
沖縄国際大学事務職員



桜美林大学  
2009年度卒

**小野間 昌和**

(おのま まさかず)

● 2007年度沖縄国際大学へ  
国内留学、現在沖縄在住

桜風の設立のきっかけや、そこに至る経緯などを教えてください。

**小野間** ▶ 私は、2007年度に桜美林大学から沖縄国際大学へ国内留学に来ていました。沖縄に来るまでは、エイサーというものも知らなかったのですが、“沖縄らしいものを観てみたい”という気持ちから、何気なく出会ったのが琉風のエイサーでした。それからは、エイサーにのめり込んでいきましたね。まんまとっって感じですかね(笑)

小野間▶琉風で“エイサー”という芸能の意味や奥深さを知り、どんどのめり込んでいったのですが、私は、桜美林大学へ戻っても『琉風のエイサーがしたい!』と考えるようになりました。その気持ちを聞いて、2008年度に今度は琉風で出会った美里さんが国内留学で桜美林大学へ来ることになりました。

なるほど。そこから桜風へと繋がっていくのですね。

美里▶最初は、小野間さんが「東京でもエイサーをやりたい!」っていう気持ちを聞いたことがきっかけでした。そのあとで桜美林大学のことを知らせてみて、講義や研究・環境にも魅力を感じたので、そこで国内留学を決意しました。そのあと、一緒に留学に来ていたメンバーと小野間さんも含め、わずか4名で桜美林大学でエイサーを始めました。文化も環境も違う場所での団体の立ち上げやエイサーの演舞にはいろいろと苦労がありました。

#### 立ち上げ当初



元々そこにはない文化を根付かせていくのはやはり苦労があったでしょうね。

小野間▶最初は「エイサー」そのものを知らないばかりでした。本来「エイサー」は地域もの。地域の方々に支えられて、様々な活動を通して根付いていくもの。ですから「エイサーという文化をツールに、この地域を盛り上げたいんです!」と、桜美林大学の関係部署や地域商店街などを一つ一つ回って、説明(営業)しましたね。本来のエイサーがもつ地域性や若者が創りあげてきたという点をもって、東京での新たな挑戦も行っていきました。

琉風と桜風の交流が10年とお聞きしました。同時に桜風設立も10年を数え、桜風の地元でも記念式典を開催したそうですね。

美里▶今までお世話になった方を招待して、団体の成長を觀てもらう場を作りました。この10年で本当に様々な方にお世話になってきたんだと感じることができましたね。もちろん沖縄と一緒にやっている琉風のメンバーにも感謝でいっぱいです。

#### 植樹・式典の様子



10年前だと、玉那覇さんと遠藤さんはまだ小中学生ですね。両団体の歴史の長さを感じるのではないですか?

玉那覇▶そうですね。本当にすごいことだと思います。琉風に出会って、本当に世界が広がったというか。今まで関わることの無かった青年会や地域の方々、東京にもこうして仲間ができて、やって良かったなと思います。

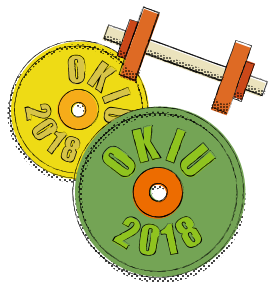
遠藤▶何気なく入った桜風でしたけど、本当に今では選んで良かったと思っています。また後輩たちにもこの歴史を繋げていけたらな、と思います。

今後の展望や期待することなどありましたら教えてください。

小野間▶美里▶学生同士の交流が自主的にこれだけ繋がっている、というのはとても珍しい取り組みだと思います。(当初は)こんなに続くとは思っていませんでしたけど(笑)でも、だからこそ学生同士、学生の感覚でどんどん新しいことに挑戦してほしいですね! この経験は、社会に出ても絶対に役立つと思いますので。

国内留学という制度がきっかけで始まった、桜美林大学での桜風の設定。そして両団体の交流。両団体は現在、沖縄と東京という違う場所にありながらそれぞれが“学生の目線”でそれぞれの地域活動やエイサーを通した様々な活動を展開しています。これからもきっと続く、学生の交流とエイサーへの探求、両団体の活躍に今後も期待して下さい!





# OKIU

## 青春白書

～活躍する学生たち～

# 01



# Taiki Yamakawa

山川 太希

法学部地域行政学科4年次  
(首里東高校出身)

### >>> THEME みなさんは「パワーリフティング」という競技を知っていますか？

パワーリフティングという競技は、バーベルを肩に担ぎ屈伸を行う「スクワット」、ベンチ台の上に横になりバーベルを挙上する「ベンチプレス」、床に置いてあるバーベルを引き上げる「デッドリフト」の3種目で合計重量を競うスポーツです。この3種目は筋力トレーニングの「BIG3」とも呼ばれており、一般的なトレーニングの動作がそのまま競技になっているスポーツです。

地域行政学科の山川太希さんは、現在このパワーリフティングの日本チャンピオンであり、大学で地域行政について学ぶかわら日々トレーニングに励んでいます。2018年6月には日本代表としてカナダで行われた世界大会にも出場しており、どのようにしてチャンピオンまで登りつめたのか、パワーリフティングについての想いなど、いろいろとインタビューしました。



#### ■ パワーリフティングを始めたきっかけは何ですか？

中学・高校はずっと野球をやっていました。そのころ野球部の練習の一環として筋トレを始めたのですが、たくさんこなしていくうちに野球よりも筋トレのほうが楽しくなってきました。それで、野球部を引退してから地元の体育館や競技場にあるトレーニングルームなどで筋トレを続けていました。大学2年の冬頃、トレーニング中に出会った沖縄パワーリフティング協会の方に「やってみないか？」と声をかけて頂き、本格的にパワーリフティングを始めることになりました。

#### ■ これまでのような大会に出場しましたか？

初めて大会に出場したのが2017年の4月でした。本格的に競技を始めてまだ2ヶ月ぐらいでしたが、県大会に出場させて頂き、ジュニア部門の105kg級で優勝することができました。始めたばかりの自分がまさか優勝できるとは思っていなかったのでも嬉しかったです。そこから記録もどんどん伸びていき、2018年の2月にはジャパンクラシック選手権大会(全国大会)ジュニア部門-120kg級で優勝することができました。この優勝によりジュニアの日本代表に選出され、6月にはカナダのカルガリーで行われた世界大会に出場させて頂き、トータル762.5kgで8位に入ることができました。



カルガリー世界大会競技中の様子

#### ■ 大学生活との両立や練習について教えてください。

今は那覇市泉崎にある「那覇ジム」に所属し、そこで練習をしています。パワーリフティングの競技者がたくさんいて、1日2~3時間、週に4日ほど練習してい

ます。僕はそれほど追い込むタイプではないので、練習量は多いほうではないと思います。ですから、大学生活との両立という意味ではそれほど難しさは感じていません。練習についてはトレーニングそのものよりも、それ以外の部分が大それたことと考えていて、ストレッチや整体、食事、睡眠など体のケアをしっかりして、いかにいい状態でトレーニングや試合に入るかを心がけています。



カルガリーの町並み

#### ■ パワーリフティングの魅力や今後の目標などを教えてください。

パワーリフティングについては、「より重いものを持ち上げた者が勝つ」というシンプルな力比べが魅力だと思います。ウエイトリフティングと混同されることがありますが、パワーリフティングは一般的な筋トレの動作がそのまま競技になっていますし、ここ数年はライザップやクロスフィットなどのトレーニングブームもあり、みなさんがもっと身近に感じてもおかしくないスポーツではないかなと思います。

数値的な目標としては、日本人歴代最高記録(830kg)の更新を目指しています。将来的には大学などで競技を教えられたらいいなとも思っています。日本ではまだ指導の部分で安定しておらず、選手個人で練習に取り組んでいることも多いです。もっと科学的な見地からのトレーニングなどを安定的に一貫して選手に指導できる体制が整えば、競技レベルが上がり注目される機会も増え、結果的に競技人口の増加にも繋がるのではないかと考えています。今後は12月(2018年)にモンゴルで行われるアジア大会に出場する予定ですので、そこでいい結果を残せるようにまた練習に励みたいと思います。



# OKIU 47th FESTIVAL Report

## 第47回沖国大祭レポート

2018年11月24日と25日の2日間にわたり、今年も沖国大祭が開催されました！沖国大祭は活動的なイメージのある沖国大生を象徴するようなイベントです。学生が実行委員会を組織して、学生が主体となって毎年開催しています。今年のテーマは「NEW HORIZON ~広がる新たな世界~」です。「新時代を担う若者の新たな視点と活気で、足を運ばれた皆さまに希望溢れる笑顔をお届けしよう！」という想いをテーマに込めたそうです。今年も、広々とした中庭を中心に様々な出店や展示、イベント、ライブやダンス、エイサーなどのパフォーマンスがあり、活気と笑顔に満ちた大学祭となりました。



### 屋内コーナー

屋内では展示や体験ブースなど、見て、参加して楽しめる空間となりました。



美術クラブ



フライングディスク部  
[ストラックアウト体験]



ボードゲーム研究会

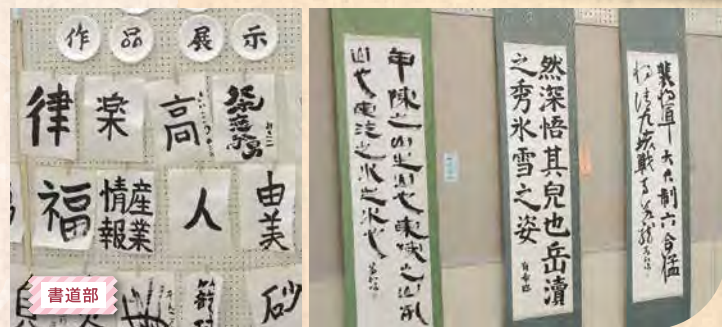
聞いたことはないけど、  
おもしろいボードゲームを  
たくさん取り揃え、  
子供から大人まで、  
たくさんの方が楽しめました



ニューミュージッククラブ



部員の作品のみならず  
体験コーナーも設け、  
一般参加者の作品展示  
も行いました。





## 屋外出店

屋外ではゼミやサークルなど様々な団体が模擬店を出店して賑わいました。



B-1  
グルメ  
1位



Shemales(冷凍プリン)



プリンアイス



清Pゼミ(チュロス)

B-1  
グルメ  
2位



岩橋ゼミ〜パンダム〜(焼き鳥)



宮森ゼミ本店(タピオカ)



伊達屋(まぜ麺)

B-1  
グルメ  
3位



そば処WA屋(オムそば)



赤保留(スープスパ&ほっとさんど)



みやもりバーガー(チーズバーガー)

B-1グランプリ(B級グルメグランプリ)も開催! エントリーした団体の中から、来場者のみなさまに美味しかったお店にQRコードで投票してもらいました。



みつをの鶏(からあげミックス)



OKU



爽やか男前店(たこ焼き)

みんなで考えよう「環境」

## エコアクション21

沖縄国際大学は、環境問題に力を入れています。今回の沖国大祭でもコネクションプロデュース(環境系サークル)を中心に各団体が協力し、清掃、ゴミ分別をしっかり行っていました。来場者の皆さまにおかれましてはご協力ありがとうございました。



※「エコアクション 21」とは、環境省(旧環境庁)が策定した環境経営システムです。本学は 2010 年よりガイドラインの要求事項に適合しているとして、認証されています。

## Media runner

メディアランナー



沖縄科学AVセンター様の提供により巨大ビジョンを搭載したメディアランナーを学内に設置しました。メインステージを映し出し、プログラムの様子を観ることができました。

## サブステージ

サブステージはキャンパス中心部の中庭に面していることもあり、たくさんの方が足をとめて楽しみました。



Kailua Hula OKIU(フラダンス)



SVG(ダンス)

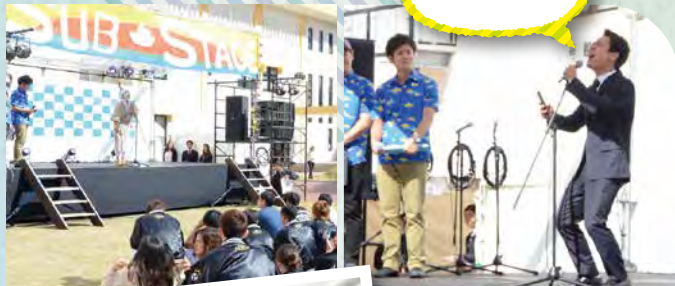


▲ 華やかな衣装と優雅なダンスで会場を魅了しました。

俺もMr.に選ばれるたい!

## 大学生の主張

「大学生の主張」では、本学の学生たちが普段から心に想っていたこと、この場でみんなにアピールしたい自分の考えなどを、それぞれの言葉とパフォーマンスで伝えてもらいました。「サークル仲間や家族への感謝の気持ち」など心温まる主張もあり、会場はおおいに盛り上がりました。



## Ms.Mr.コンテスト

沖国大祭の人気プログラムの一つでもある Ms.Mr.コンテストでは、グランプリに當山礼菜さん(地域行政学科2年次)と野原新隆さん(地域行政学科4年次)が選ばれました。また、準グランプリには翁長愛音さん(社会文化学科2年次)と泉大志さん(法律学科3年次)が選ばれました。ステージ上には美男美女が集い、とても華やかなプログラムとなりました。



## RUN TOMO 2018 HOKKAIDO to OKINAWA



参加者のみなさんと記念撮影

RUN伴  
ランとも



沖縄国際大学は福祉活動にも力を入れています。今回の沖国大祭では「RUN 伴(ランとも)」に賛同し、宜野湾地区のゴールが沖縄国際大学(沖国大祭サブステージ)となりました。「RUN 伴」は地域住民と認知症の人や家族、医療福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。地域の人と認知症の人が出会うことが、認知症になっても安心して暮らせる地域をつくるはじめの一歩となります。沖縄では本島を南、東、西と3つのコースにわけ、7月に北海道の宗谷岬をスタートしたタスキが渡ってきました!

## メインステージ

メインステージは体育館に設け、たくさんの団体の演舞やアーティストによるライブが行われました。



中東芸能クラブ(ベリーダンス)



▲ 妖艶なダンスで会場を沸かせました

◀ 両日ともにメインステージのトップバッターを務めた吹奏楽部。素敵演奏で幕開けを飾りました!



吹奏楽部

メインステージでは他にも、「かりゆし58」「ヤングオオハラ」「WB」「シシノオドシ」「前田秀幸&大城貴史」「いーどうし」をスペシャルゲストに迎え、ライブ演奏やパフォーマンスが行われました。アーティストのみならず、沖国大祭をおおいに盛り上げて頂きありがとうございました。日頃、練習に励む芸能サークル等に所属する学生たちにとっては素晴らしい刺激になり、同じ舞台上に立てたことが喜びとなったことでしょう。

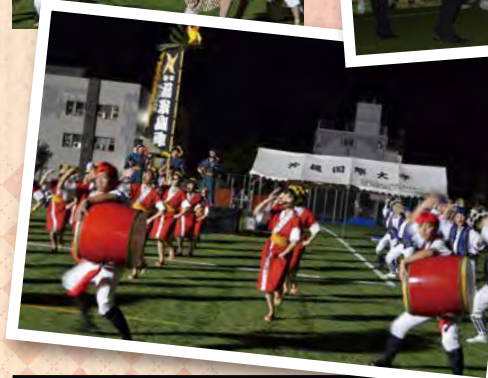
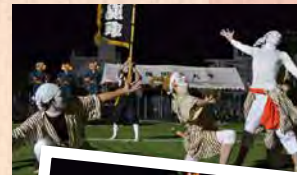


鼓舞楽団 浦風



## フィナーレ

大トリは学内外で様々なイベントを経験している「琉球風車」が締め、エイサー演舞を披露しました。



◀ フィナーレでは来場者のみなさまと一緒にカチャーシーを踊って盛大な花火とともに沖国大祭を締めくくりました。

今年も大盛況で幕を閉じた沖国大祭。ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました。来年の沖国大祭もお楽しみに。また是非おこし下さい!

### 第47回 沖縄国際大祭の お礼とお詫び

去る11月24日(土)、25日(日)に行われました「第47回沖国大祭」に多数のみなさまにご参加を頂きましてありがとうございました。また、沖国大祭を開催するにあたり地域住民の方々・関係者の皆様には、いろいろとご協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。しかしながら、沖国大祭において大学周辺の混雑や騒音が生じた事に関しましては、大学近隣にお住いの方々にご迷惑をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。今回、沖国大祭の実施に関しましてご指摘頂いた点につきましては、次年度以降の計画に取り入れ、反省の気持ちをもって改善に努めて参る所存でございますので、引き続き温かいご指導の程、よろしくお願い申し上げます。最後に、大学祭の実施につきましては、課外活動の成果発表、地域住民および大学生相互の親睦を心がけておりますので、地域住民の方々・関係者の皆様には今後とも厚くご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月26日 沖縄国際大学 大学祭実行委員会



2018.4.21

**島ぜんぶでおーきな祭(第10回沖縄国際映画祭)に出演しました!**

「島ぜんぶでおーきな祭(第10回沖縄国際映画祭)」の新都心公園のステージにフラダンスサークルの『Kailua Hula OKIU』の皆さんが出演しました!若さ溢れるフラダンスで観客を魅了、司会の芸人さん達と一緒に会場を盛り上げ、沖国大をPRしました!また、翌日は中東芸能クラブ(ベリーダンス)の皆さんも加わり、国際通りの沖縄国際映画祭レッドカーペットを歩きました。悪天候で開催も危ぶまれましたが、無事芸人さんと一緒に歩くことができ、沖国大のPRをすることが出来ました!



2018.4.25

**護得久栄昇先生が沖国大にきました!**

「わかるよねえ?」でおなじみ、あの「大物民謡歌手(風)」護得久栄昇先生が沖国大にきました!RBC(琉球放送)の情報バラエティー番組『Aランチ』の1コーナー「護得久栄昇のうちな〜漫遊記」の撮影が本学で行われました。護得久先生が学内を散策し、サークルや講義、施設の紹介など沖国大の魅力が詰まった内容となり、前津学長とのかけあいなどは普段はなかなかみられない貴重な一幕となりました。



2018.5.13

**第59回全九州学生空手道選手権大会で優勝しました!**

第59回全九州学生空手道選手権大会において本学の学生が優秀な成績を収め、前津学長に報告を行いました。男子個人形では佐々木瞭友さん(法律学科4年次)が優勝、女子個人形では與那覇綾子さん(英米言語文化学科3年次)が準優勝となりました。お二人は全日本個人候補選手にも選ばれており、今後ますますの活躍が期待されます!



2018.5.18

**第99回九州地区大学野球選手権沖縄予選で優勝しました!**

硬式野球部が第99回九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会沖縄地区予選で、7季ぶりの優勝を果たし、前津学長に報告を行いました。今後も硬式野球部への応援、よろしくお願いします!



2018.6.1

**企業システム学科・町田隼人さんが初の個展を開催しました!**

本学でマーケティングについて学びながら、創作活動をする町田隼人さん(企業システム学科4年次)が、初の個展を沖縄県立博物館・美術館で開催しました!個展の開催は、町田さんにとって目標の一つだったそうです。在学中にアートを学ぶためのニューヨークへの私費留学、その他県内外でも活躍している町田さんの想いが詰まった初開催の個展は大盛況となりました。今後の活動もみなさんは是非ご注目ください!



2018.6.18

**沖国大のCMが放送されました!**

沖縄国際大学のCMが6月中旬から7月中旬の約1ヵ月間、テレビ放送されました。RBC(琉球放送)25回、OTV(沖縄テレビ)23回、計48回。このCMは在学生の皆さんも出演・企画に携わって制作したものであり、大好評で放送期間を終えました。YouTubeではフルバージョンも配信中です。是非checkしてみてください!「沖国大プロモ」で検索!



2018.6.30

**学内英語スピーチコンテスト開催!**

同コンテストは、本学の学生に英語で意見発表する場を提供し、英語力の向上に貢献することを目的として、毎年、開催されています。今年は、11名の学生がエントリーし、インターンシップでの経験や日々の生活から学んだこと、環境問題や戦争などの社会的な問題など独自のテーマで英語による表現能力を競いました。優勝は、「My Challenge」という題でスピーチをした比嘉友里香さん(英米言語文化学科1年)でした。



2018.7.11

**「韓国語能力試験」に本学学生39名が合格!**

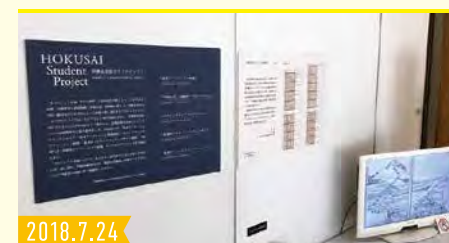
第57回韓国語能力試験で、本学の学生が全級で39名(初級34名、中・上級5名)が合格を果たしました!韓国語能力試験は、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験で、試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で実施されています。沖縄では年1回(毎年4月)実施されており、本学が本会場となっています。最上級の6級は、「政治・経済など全般的なテーマにおいて不変なく韓国語が利用可能で、自己表現に問題なく話すことが可能なレベル」が認定基準となっており、今年は、玉寄隼さん(企業システム学科4年次)、知花成美さん(英米言語文化学科4年次)の2名が見事6級に合格しました。



2018.7.15

**オープンキャンパスを開催しました!**

7月15日(日)と10月14日(日)にオープンキャンパスを開催し、たくさんの受験生・保護者の皆さんにご来場頂きました!各学科の学科紹介や体験講座はもちろん、入試や国内外留学、奨学金などの相談ブースも設け、多くの皆さんにご活用いただきました。また、在学生によるキャンパスツアーやサークル展示、サークルによるパフォーマンスも披露し、沖国大の魅力を存分にみせることができました。 ※7月1日は残念ながら台風により中止となりましたが、例年7月には二回開催しております。



2018.7.24

**高飾北斎展に産業情報学科の学生が出展しました!**

産業情報学科大山研究室では、学生の教育、人材育成を目的として、浦添市美術館にて開催された「江戸の天才絵師 葛飾北斎」展に、学生が主体となって企画立案し発信するプロジェクトを出展しました。大学で学んだ専門知識を活かし、学習成果を社会にどのように生かせるかという観点から、情報技術を活用したコンテンツの企画立案、アプリ開発、映像制作等に取り組みました。具体的には、「北斎アニメーションワークショップ」「北斎アニメーション映像制作」「カウントダウンアプリケーション開発」「北斎展プロモーションウェブサイト制作」「琉球八景」体験型アプリケーション開発の5つのプロジェクトを実施しました!



2018.8.11

**フラダンスサークル『Kailua Hula OKIU』が『College Hula Competition'18』に出場しました!**

横浜ロイヤルパークホテルにて行われたCollege Hula Competition'18に未来枠(エキシビジョン)で沖縄から初出場を果たしました。フラダンスサークル『Kailua Hula OKIU』は結成2年目での快挙となります。当日は、他大学のレベルに圧倒されることなく沖縄の学生らしいはつらつとした踊りを披露しました。



2018.8.13

**『普天間基地の閉鎖を求め、平和の尊さを語りつく集い』を開催**

2004年8月13日の米軍ヘリ墜落事件から14年目を迎え、『普天間基地の閉鎖を求め、平和の尊さを語りつく集い』が本学ポケットパークで開催されました。本学では、事件を風化させることなく、平和の尊さを語りつくために毎年集いを開催しています。上江洲図書館長の挨拶・趣旨説明、そして前津学長による、普天間基地の閉鎖・撤去を求めの旨の声明が発表されました。また、学生を代表して法律学科4年次の新垣里奈さんと地域行政学科3年次の牧志和哉さんによる、意見発表が行われました。



2018.8.17

**『みんなが おきなわ あんばさだー!』  
沖縄観光月間キャッチコピーに選ばれました!**

沖縄県では、8月1日を「観光の日」と定め、8月を観光月間として様々な取り組みを行っています。その観光月間のキャッチコピーに、本学卒業生で本学事務職員(情報センター)の比嘉優太さんが考案した『みんなが おきなわ あんばさだー!』が選ばれました!比嘉さんは本学在学時には海外協定校に留学、卒業後は“Glean Piece”として音楽活動も経験。それらの経験も活かし、本学で職員として学生の支援に携わっています。



2018.9.21

**軟式野球部が沖縄県大学軟式野球秋季リーグ戦において優勝**

2018年度沖縄県大学軟式野球秋季リーグで優勝した軟式野球部が、前津学長に報告を行いました。優勝報告を行ったのは、主将の城間智徳さん(地域環境政策学科2年)、知念大聖さん(法律学科2年)、當間優太さん(社会文化学科3年)です。知念さんは最優秀選手に選出されています。今後の大会での活躍もご注目ください!



2018.10.16

**沖国大にゴーゴーヤーがやってきました!**

全国でも人気のアーティスト「HY」の信介さん(ベース)と悠平さん(ギター)が、自身の番組である「HYゴーゴーヤー(OV沖縄テレビ)」の取材でやってきました!普段の大学生活や夢に向かって頑張る学生をたくさん取材してもらい、沖国大の魅力が存分に伝わる内容となりました。



2018.10.18

**講義「日本外交史」で国連職員の方にご講演頂きました。**

地域行政学科専門科目「日本外交史」で、国連開発計画(UNDP)アフリカ局TICADプログラムアドバイザーの小松原茂樹氏が、「アフリカ開発と国際社会の取り組み」をテーマに講義してくださいました。講義では、グローバル社会においていかにキャリアを形成していくか、といったことについて、ご自身の経験も踏まえつつ、熱く、わかりやすく話して頂きました。現役の日本人国連職員の方による講義という貴重な機会であり、国際社会の課題について理解する上で非常に有意義なものとなりました。



2018.10.19

**特待奨学生証書交付式を行いました!**

学部ごとに特待奨学生証書交付式を行いました。本学特待奨学生は「学業・人物ともに優秀で、他の模範となる学生」という基準で選考されています。今回選出された30名には、授業料・施設設備資金に相当する額が奨学金として給付されます。



2018.10.26

**学Pリーグ2018開幕!**

沖縄ファミリーマート主催「学Pリーグ」に今年も本学企業システム学科の学生が参加しました。今年の開発商品は「べにちた」と。県産の紅芋とシークワーサー果汁、レアチーズをあわせた絶品タルトは、Web投票で1位となりました。ご購入、応援いただいた皆さまありがとうございました!



2018.11.6

**本学卒業生が世界選手権個人形・団体形で優勝!**

スペインで開催された「世界空手道選手権大会」男子個人形の部で喜友名諒さん(英米言語文化化学科卒業生)が金メダルを獲得し、世界選手権3連覇を達成しました。また、男子団体形の部では、同じく喜友名諒さんと、金城新さん(地域行政学科卒業生)、上村拓也さん(社会文化学科卒業生)が出場。こちらも優勝に輝き、団体では世界選手権2連覇を達成しました。2020年東京オリンピックでの活躍も期待されます!



2018.11.27

**沖国VRサークルがPARADISE JAM 2018アンバサダーに就任!**

「PARADISE JAM」は沖縄県内の社会人や学生クリエイターが多数参加し、ユニークな発想とプログラム技術をチームごとに競い合い、コンテスト形式で実施される競技会です。沖国VRサークル(OKIU VR)は他団体との混成チームにて2017年度に開催された「PARADISE JAM 2017+」にて最優秀賞を受賞しており、PARADISE JAM 2018からの新たな取り組みとしてアンバサダーの認定が行われました。PARADISE JAMに関する最新情報やハッカソンの魅力を発信していくとのことです。今後もOKIU VRの活動に注目です!

# OKIU Internship Challenge!

インターンシップにチャレンジ!

沖縄国際大学では、企業や官公庁において大学主催のインターンシップを実施しています。2018年度は81事業所、161名の学生が参加しました。

本学主催のインターンシップは2週間または3週間と期間が長めですが、“自分なりの働くことに対する価値観”を養うことができます。参加した実習生からは「アルバイトと社会人の違いが分かった」「今の自分と社会人との差を感じ、今後の目標を立てることができた」など、インターンシップを通して成長したことがうかがえる感想がありました。

近年、若年者の就職後3年以内の早期退職が社会問題となっています。長期にわたる就職活動を早期退職で無駄にしないためにも、自分なりの“働くことに対する価値観”をしっかりと考え、充実したキャリア設計を行いましょ。

## 沖縄国際大学主催 OKIU INTERNSHIP SCHEDULE インターンシップスケジュール

4月～6月上旬

- 学内募集説明会
- 申込
- 面接
- 選考

6月中旬～7月

- 事前ガイダンス(全8回)

8月～9月

- 各実習先にてインターンシップ

10月～12月

- 事後ガイダンス(全2回)
- インターンシップ報告会

キャリア支援課では本学主催インターンシップの他にも、キャリアアドバイザーによる就職相談や資格取得講座など各種就職支援を行っております。どのように就職活動をはじめて良いかわからない場合は、気軽にキャリア支援課に足を運んでみてください。

## ■ キャリア支援課窓口(3階)

TEL:098-893-7779

受付時間 / 9:00-19:00(月～金)

## INTERNSHIP REPORT インターンシップ 体験報告



総合文化学部  
日本文化学科 3年次

またよし ひなこ

又吉 緋奈子さん

出身高校  
具志川高校

実習先 沖縄県警察 宜野湾警察署

### 実習先の皆さまの「働く」を紹介

警察署で働く方は主に、地域警察・刑事警察・生活安全警察・交通警察・警備警察・警務警察・警察事務に分けられます。宜野湾警察でも多くの警察官・事務員が働いています。「犯人を捕まえたとき」「住民から感謝の言葉を言われたとき」に警察官として仕事のやりがいを感じられる、人と接する中で自分も成長することができる仕事だと言います。

また、昇任制度が整っており、学歴や年齢、性別に関係なく、努力と実力次第でキャリアアップへの道を切り開くことができ、昇任に向けて仕事を行いながら努力し続けています。

警察官の仕事といえば犯人を捕まえることが一番に想像されると思いますが、上記のとおり、犯罪の防止や被害者支援活動等さまざまな業務を行っています。さらに、最近では女性警察官が幅広い分野で活躍しています。業務を行う上では、特にチームワークが重視されており、お互い助け合いながら全ての警察官が警察官である自信と誇りを持って日々努めています。

### 実習により得たこと・感想

私が本実習で得たことは、積極的に行動を行う難しさです。実習を行うに当たって「積極的に行動をする」ことを目標に掲げたこともあり、意識していたのですが、いざとなると行動に移せない場面が多々ありました。そのため、実習中盤からは事前に実習のタイムスケジュールを確認し、質問内容や自分の意見、どう行動すれば良いか考え翌日に備えました。

しかし、それでも積極的までとは言えず悩んでいました。そのとき、職員の方から「具体的な目標を持って取り組むと厳しい場面でも乗り越えられる」とお聞きし、私が積極的に行動できない原因は、何のために行動するかという「目標」が曖昧だったからだ、と、自覚することができました。

自分の行動を振り返り評価できる一面もある一方で、目標の立て方が不十分という課題を見つけれられた実習でした。今後の学生生活では、実習で学んだことを活かして意識的に過ごしていきたいと思います。お忙しい中、時間を割いて貴重な経験をさせて頂き誠に有難うございました。

沖縄国際大学キャリアアドバイザーの  
松堂美和子先生よりメッセージ

“ご自分の課題に気づく”という点で実りある実習になったようですね。

実社会では特に、自らの言動が周囲や仕事に何らかの影響を及ぼすので、実習期間中はこれまで以上に深く考えてしまい、行動に移すことを躊躇ってしまったのではないのでしょうか。そのような状況下でも自己の課題解決にむけて、周囲に相談しながら取り組む又吉さんの姿勢は大変素晴らしい、また、仕事をすることで基本かつ大切なことを学べたのではないかと考えています。今回の経験をバネにこれからも成長していけるよう期待しています。



総合文化学部  
英米言語文化学科 3年次

くによし しょうま

國吉 正真さん

出身高校  
興南高校

実習先 有限会社 拓実住宅



経済学部  
経済学科 3年次

みやぎ ななみ

宮城 七海さん

出身高校  
名護高校

実習先 JALスカイエアポート沖縄株式会社  
那覇空港本店

実習先の皆さまの「働く」を紹介

有限会社拓実住宅では、事務、営業、売買、管理、経理、保険の6つの部署に分かれています。事務では電話対応などの事務作業、営業は物件案内、入居立会い、退去立会いなど、工事発注や、クレーム対応など、売買は土地や物件の売買だけではなく、売買仲介業務とあって、土地や家を購入する上でのアドバイスなどを行います。その他に、弁護士、税理士を通して契約のための準備をします。管理は、家賃延滞者の督促、空室状況の把握などを行い、経理は会社の全体のお金を管理する役職です。役職は決まっているものの、皆が経営者の気持ちで業務に取りかかっているため、全ての役目を皆が理解しています。

実習により得たこと・感想

この実習を通し、とても成長できたという実感があります。実習先での出来事は、何もかもが初めての体験であり、試行錯誤しながらの毎日で、正直、とてもハードな期間だったと思います。しかしその反面、この実習期間では自己分析をすると同時に、今後の大学生活の在り方を見つめ直す機会ともなり、貴重な3週間となりました。まず、社会人の「学ぶ姿勢」というのはとても印象に残っています。実習先の方々は、各々のレベルアップをするため、自主的にセミナーへの参加や、資格取得に向けて勉強に励んでいました。現状に満足せず、常に向上心を持って働いている姿は、生き生きとしていて、また楽しそうに働いている様に見えました。この様に向上心を持って働く、ということが楽しく働く方法の1つであり、社会で生き残

るための大切なことだと感じました。また、私の実習先では、社員1人1人が担当をしてくれて、仕事以外のお話をさせて頂く機会もたくさんありました。大学生活でやっておくべきだったことや、働く上で必要なものは何なのかを教えてくださいました。自分の業務の間を縫ってまで、実習生の面倒を見てくれた社員の方々にはとても愛情を感じました。そして、みなさん仲が良く、とても強い繋がりのできた家族の様な会社でした。やはり、長く続けられる会社というのは、単純に売り上げや利己的なことを考えるのではなく、協力し合うことを大切にしているのだと思いました。この実習先で感じたことは、自分を成長させる大切な材料となりました。これを活かし、これからの大学生活や就活の参考にしていきたいと思えます。

沖縄国際大学キャリアアドバイザーの  
松堂美和子先生よりメッセージ

多岐にわたる業務で慣れない中にも一生懸命に取り組む様子がうかがえます。実習を通して自分としっかり向き合うことができたようですね。

今回は特に社会人の「学ぶ姿勢」や「向上心」を目の当たりにすることで、生涯にかけて学習しつづけることの大切さを知る良い機会になったのではないかと思います。また、「他人は自分を映す鏡」と言われるように、そこに着目できた國吉さんにもきっと同じような成長意欲が備わっていると思っています。是非、これからも自己成長を惜しむことなく突き進んでください。応援しています！

実習先の皆さまの「働く」を紹介

グランドハンドリング業務では、安心して飛行機に乗れるよう、飛行機の出発や到着などお客様のご案内を中心にあらゆる地上での業務を行っている。その業務は、トラブルなく全てのお客様を予定通りに飛行機へご案内し、安全な運航を行うための重要な業務であり、その中でのお客様の笑顔や「ありがとう」などの言葉、ひとつひとつのフライトをうまく送り出せた時などにやりがいを感じる。また様々な事象により予定通りに運航できない場合もあるが、周りとかまめに連絡をとることで迅速な対応ができそれがお客様への最高のサービスの提供へと繋がる。

実習により得たこと・感想

インターンシップに参加するまでは社会で働くことの大変さや、自分が今のスキルでどれだけ通用するのか、また弱点や足りないことは何なのかが分からず、これから社会に出るには今自分がなにをすべきなのかが具体的に見えていなかった。しかし今回JALスカイエアポートでグランドハンドリング業務を体験し多くの社員の方やお客様と関わることで、事前ガイダンスでも学んだ正確に連絡をすることや「マナーは思いやりを形にしたもの」ということが実感できた。その実感したことに対して自分が正しい対応ができる力が十分に備わっていないことに気づき、言葉の正確な伝え方を実習中に考えることが多々あった。これは言葉だけでなく「情報収集のスキル」できちんと情報を得られていないことも原因の1つだと気づき自分の欠点を見直すことができた。欠点に気づくことが多かった

中で、自分の長所は相手の話をきちんと聞き次の対応ができる事や、任せられた仕事をやり遂げることができる事だということにも気づけた。

また実習の前までは華やかなイメージがある職業だったが、想像していたよりも大変で安全や時間に関して厳しい業務であることが分かった。業務の中で、搭乗が遅れているお客様などへの声掛けでは、大きな声で呼びかけたりする場面があり初めはうまくできず悔しい思いをしたが社員の方のまねをしてみるなど、自ら積極的に行動することができ実習の中で今までなかった「前に踏み出す力」をつけられた。今回のインターンシップを通してこれから自分に必要なことが具体的にみえ、次に踏み出すきっかけを得ることができた。これを残りの大学生活でのキャリア形成に大いに活かしていきたい。

沖縄国際大学キャリアアドバイザーの  
上原貴子先生よりメッセージ

航空業界でのインターンシップを通して「仕事の基本スキル」や「課題発見」を実感する貴重な体験をされましたね。

特に、自分自身の行動にアンテナを立て、長所(傾聴力)を活かし、短所(伝達力・情報収集力)を分析・学習に繋げる姿勢が素晴らしい「成長し続ける人材」を感じます。

今回自覚された新たな強み「前に踏み出す力」は、宮城さんの自信に繋がり、背中を押し、キャリア形成の質を高めていくことでしょう。与えられた機会を積極的に取り込み、大きな学びを得た宮城さん!今後も自分の可能性を信じ、邁進し続けて下さいね。

## ■ 奨学金関連情報 01

## 奨学金 Q&amp;A

## 奨学金制度を賢く利用

経済的な理由に煩わされず、充実した学生生活が送れるように、沖縄国際大学では独自の各種奨学金制度を用意しています。また、日本学生支援機構(JASSO)など学外の奨学金も取り扱っています。

## 給付型[本学奨学金]

## 返済する必要がない奨学金

学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に給付されます。

- 例 ● 特待奨学金 ● 一般奨学金  
● 体育奨学金 ● 文化活動奨学金  
● 国内協定校派遣留学奨学金など

## 貸与型[外部奨学金]

## 卒業後に返済が必要な奨学金

学業・人物ともに優秀で、諸事情により修学が困難な学生に貸与されます。

- 例 ● 日本学生支援機構(JASSO)奨学金  
● 財団法人沖縄県国際交流人材育成財団  
● 交通遺児育英会奨学金  
● 市町村奨学金 など

オープンキャンパスの相談ブースや窓口で受ける  
主なご質問とその回答を紹介します。

## Q どのような奨学金がありますか？

A **給付型** 特待奨学金、一般奨学金、体育奨学金等、およそ20種類の奨学金制度を用意しています。

**貸与型** 日本学生支援機構(JASSO)奨学金、財団法人沖縄県国際交流人材育成財団奨学金、県内市町村奨学金などがあります。

## Q 4年間を通しての利用は可能ですか？

A **給付型** 年に1度の出願で、毎年の出願が可能です。採用になった場合はその年度の奨学金が受給できます。

**貸与型** 1年生で採用された後、4年間の利用が可能です。ただし、年に1度の「継続願」の手続きが必要で、この手続きを忘れてしまうと次の年度は「廃止」となり利用することが出来なくなってしまうので注意してください。

## Q 出願方法をおしえてください

A **給付型** 奨学金の種類によって提出する出願書類が異なります。毎年5~6月に案内する「募集要項」で出願方法の詳細を確認してください。

**貸与型** 大学を通して出願手続きを行うものと、直接書類を送付するものがあります。特に利用者が多い日本学生支援機構(JASSO)奨学金については、毎年4月の初め頃に「募集説明会」を開催しますので、出願を希望する方は必ず出席してください。出席していない学生は出願することができません。

## Q 入学前に利用できる奨学金はありますか？

A **給付型** 在学生を対象にしているので、入学前に利用できる奨学金制度はありません。

**貸与型** 日本学生支援機構(JASSO)奨学金や、市町村が取り扱う奨学金制度には入学前に利用・予約できるものがあります。詳しい手続きは、現在通っている高等学校や市町村が出している案内で確認してください。

## Q 書類を出せば誰でも奨学金が受けられますか？

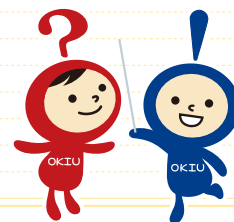
A **給付型** **貸与型** それぞれの奨学金には「応募条件」「成績基準」があり、さらに「家計状況」を確認するため、「書類を出したら必ず採用になる」ということではありません。家計状況が厳しい状況であっても、学業成績が不振の場合は審査対象外となるため、学業を怠らないことが大切です。



本館2階の学生課窓口



3号館1階の奨学金関連掲示板





## ■ 奨学金関連情報 02

### 奨学金年間スケジュール(予定)

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本学生支援機構(JASSO)在学届提出</li> <li>●日本学生支援機構(JASSO)予約採用生オリエンテーション【4月上旬】</li> <li>●日本学生支援機構(JASSO)定期募集説明会【4月中旬】</li> <li>●日本学生支援機構(JASSO)「採用候補者決定通知」受付(予約奨学生)</li> <li>●市町村等奨学金(揭示案内)</li> <li>●沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金(揭示案内)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本学生支援機構(JASSO)定期募集出願受付【5月上旬】</li> <li>●あしなが育英会奨学金(揭示案内)</li> <li>●交通遺児育英会奨学金(揭示案内)</li> <li>●中村積善会奨学金(揭示案内)</li> <li>●本学及び本学関係奨学金説明会【5月下旬～6月上旬】</li> </ul>
6月	●本学及び本学関係奨学金出願受付【6月中旬】
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本学生支援機構(JASSO)採用オリエンテーション(予約採用学生)【7月上旬】</li> <li>●日本学生支援機構(JASSO)採用オリエンテーション(定期採用学生)【7月下旬】</li> </ul>
8月	●本学及び本学関係奨学生 採用決定【8月下旬】
11月	●日本学生支援機構(JASSO)奨学金返還説明会(満期予定者)【11月中旬】
1～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本学生支援機構(JASSO)継続手続書類配布(1～3年次学生)【1月上旬】</li> <li>●国内協定校派遣留学奨学金説明会・市町村等奨学金(揭示案内)</li> </ul>

### 奨学金利用上の2つのチェックポイント

#### Point.01

#### 計画的に利用しましょう

大学生生活4年間でどれだけのお金が必要なのかを把握し、特に貸与型については、将来返還することを踏まえて、計画的に利用しましょう。

#### Point.02

#### 手続方法とスケジュールを把握しましょう

奨学金を利用するためには、制度ごとに様々な手続きを取る必要があります。募集案内や通知について積極的に情報収集を行い、書類の準備ができれば必ず期限内に提出する等、利用する学生が主体的に取り組むことが大事です。

学生課窓口(本館2階)

TEL:098-893-7686

受付時間/9:00～19:00(月～金)  
E-mail:welchr@okiu.ac.jp

### 沖縄国際大学体育会および文化会について

沖縄国際大学体育会は、体育運動を通じて人格の向上を図り、スポーツマンシップを養成することを目的としています。沖縄国際大学文化会は、文化活動を継承・創造する人材を育成し、文化活動による社会貢献の実践を促進することを目的としています。大学での課外活動の中には金銭的負担のかかる活動などもあります。本学では遠征や合宿にかかる費用やクラブ・サークル活動にかかる備品購入費用などの一部補助を行っています。クラブ・サークル活動に必要な経費補助についてのご相談は、学生課窓口(本館2階)で受け付けています。

### ■ 沖縄国際大学体育会・文化会 2017年度決算書 (2017年4月1日～2018年3月31日)

体 育 会				文 化 会			
収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	14,493,000	事 業 費	8,961,932	会 費	11,612,000	事 業 費	9,176,164
寄 付 金	0	登 録 費 及 び 参 加 料	0	寄 付 金	0	備 品 費	4,560
雑 収 入	71	運 営 費	31,611	雑 収 入	140	運 営 費	110,346
前年度繰越金	17,089	雑 費	0	前年度繰越金	8,904,270	雑 費	0
		次年度繰越金	5,516,617			次年度繰越金	11,225,340
合 計	14,510,160	合 計	14,510,160	合 計	20,516,410	合 計	20,516,410

[単位:円]

### ■ 沖縄国際大学体育会・文化会 2018年度予算書 (2018年4月1日～2019年3月31日)

体 育 会				文 化 会			
収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	14,964,500	事 業 費	19,802,000	会 費	11,989,000	事 業 費	20,151,000
寄 付 金	1,000	登 録 費 及 び 参 加 料	1,000	寄 付 金	1,000	備 品 費	2,350,000
雑 収 入	1,000	運 営 費	679,117	雑 収 入	1,000	運 営 費	714,340
前年度繰越金	5,516,617	雑 費	1,000	前年度繰越金	11,225,340	雑 費	1,000
合 計	20,483,117	合 計	20,483,117	合 計	23,216,340	合 計	23,216,340

[単位:円]

# 01

## フライングディスク部



部長 平山 貴史



練習に参加、サークル棟305号室に訪問、TwitterのアカウントへのDM



沖縄国際大学グラウンド

私たちフライングディスク部は主にアルティメットの練習をしています。アルティメットとはフライングディスクを使った、アメフトとバスケットを融合させたようなスポーツです。練習時間は毎週火曜日と金曜日の18時半から21時半に行っています。9月に九州で行われる学生選手権や12月に行われる、沖縄オープンに向けて練習に励んでいます。また練習の他にも新歓ペンションや県外のアルティメッターと交流ができる「かりゆしクラシック」など楽しいイベントが盛りだくさんです。大学生活を充実させたい!運動不足を解消したい!今までやったことのないスポーツを試してみたい!とりあえず友達を作りたい!どんな理由でもいいので楽しみましょう!



# 02

## ボードゲーム研究会



部長 玉寄 由梨



活動場所もしくはTwitterに連絡。



サークル棟8-213

ボードゲームといえば皆さんはオセロや将棋などを想像すると思いますが、私たちが取り扱っているボードゲームは国内から海外までいろんな国で作られたボードゲームです。活動日の水曜日と木曜日に集まってボードゲームをしています。みんなでワイワイするのが好きな人、じっくり考えて戦略を練るのが好きな人、人を騙すのが得意な人、いろんな人が楽しめるボードゲームを取り揃えています。毎年大学祭にも参加して、多くの方にボードゲームの楽しさを伝えています。サークル参加も自由なので気軽に好きな時にボードゲームが出来ますよ。興味が少しでもある人、ボードゲームって実際どんなものか分からないという方は是非気軽に遊びに来てください。



# 03

## 茶道クラブ



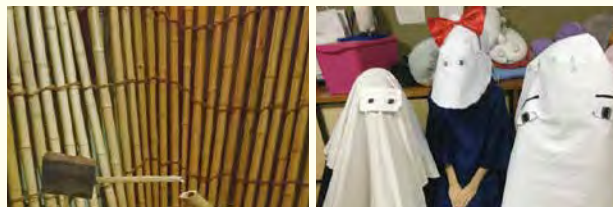
部長 上原 夏海



入部届を記入後、部員に提出



サークル棟2階部室



私達は、月2回外部から講師をお招きし、お稽古を行っています。このお稽古に参加することで、茶道の資格(全3段階)を取得することも可能です。主なイベントとしては5月・新入生歓迎会、9月・セミナーハウス合宿、11月・大学祭出店等があります。茶道以外でも、部員同士の交流を深めるイベントも活発です。大学から茶道に触れ、先生や先輩に教わりながら先述の資格を取得した部員も多く、初心者でも気軽に楽しく活動できます。見学希望の際は、16BA020@okiu.ac.jpにご連絡いただくとスムーズです。どのサークルに入るか迷っている方、イベント事が好きな方など、皆さんの見学・入部をお待ちしています。

# 04

## ゴルフ部



部長 大湾 稜太



QRコードを読み取り  
TwitterからDM



森川ゴルフガーデンで  
毎週木曜日に練習

部員数は8人で、毎週木曜森川ゴルフガーデンの練習場をお借りして練習しています。私たちゴルフ部は初心者も参加して毎年二回ほどあるショートコースで行われる大会に出場し、他校との交流やゴルフの楽しさなどを教えています。ゴルフといえばお金がかかるイメージですが、私たちは森川ゴルフガーデンさんにご協力いただいて、安く練習させて頂いています。ゴルフ部の実績としては、年に二回行われる沖縄県学生ゴルフ選手権でこれまでに優勝が2回、準優勝が2回と数々の好成績をあげています。これからも私たちゴルフ部は、九州大会でも活躍していくつもりです。皆さんと一緒に新しいことに挑戦してみませんか？私たちはいつでも大歓迎です。



## OKIU 2018 人事情報 01

### 採用教職員紹介 (9月20日付)

①最終学歴 ②専門分野



総合文化学部  
英米言語文化学科  
講師

阿嘉 奈月

(あか なつき)

- ① 琉球大学大学院 修士課程  
教育学研究科 英語教育専修 修了
- ② 英語教育学、外国語リーディング



教務部研究支援課  
沖縄法政研究所  
研究支援助手

親川 裕子

(おやかわ ゆうこ)

- ① 沖縄大学大学院 現代沖縄研究科  
沖縄・東アジア地域研究専攻 修了

### 退職者 (8月31日付)

職名	氏名	勤続年数
沖縄法政研究所 研究支援助手	石川 朋子	3年

## 平成30年度うまんちゅ 定例講座実施報告

「うまんちゅ定例講座」は、地域に根ざした大学として、地域の方々と、日常や将来の糧になるような知識を共有するという観点から、毎年テーマを設定し、わかりやすく解説し考えていく講座です。平成30年度は、地域環境政策学科が担当し、「変わる沖縄～地域環境政策学の視点から～」をテーマに6月から11月にかけて全12回を開講いたしました。

- 政府の沖縄振興策は何をもたらしたか
- 離島村落における意識構造と環境配慮行動の違い
- 観光地の活性化と観光関係税
- 沖縄から全ての「基地」が無くなったら沖縄経済はどうなるか
- フランスの沖縄! ～ブルターニュ地方～
- AR活用による地域活性化の可能性
- 沖縄農業の変容
- 遺伝子配列から解き明かす沖縄の生物多様性
- 金融で変える地域と環境
- あんやたん! 沖縄の貝～貝類利用の移り変わり～
- 湿地の保全とワズユースについて
- 干潟における環境・経済と地域発展～沖縄、日本、韓国を事例として～

今年度は延べ320名の受講生の方にご参加いただきました。  
今回の講座内容は、書籍化され2019年4月ごろに全国の書店で販売予定です。

## 入試広報サポーター 募集のお知らせ

広報課では大学の入試広報活動をお手伝いしてくれるサポーターを募集しています! 在学生であればあなたでも参加出来ますので、お友達を誘って入試広報サポーターに登録しましょう♪

### サポーターの主な活動

#### ■ オープンキャンパスのツアーガイド

キャンパスツアーのガイド役として高校生を対象に沖縄国際大学の案内や説明をしてもらいます。そのほか、オープンキャンパスのお手伝いをお願いします。

#### ■ 大学説明会への同行

沖縄国際大学では各高校から大学説明会の依頼があった際に教員や在学生を派遣しています。出身高校へ行って沖縄国際大学の魅力を語ってみませんか?

#### ■ 大学案内・広報誌へのコメント掲載

学科紹介やキャンパスライフなどのコメントを執筆してもらいます。沖縄国際大学の魅力を写真や文章を通して伝えてもらいます。過去に広報誌に掲載された学生に雑誌のモデル依頼がきたこともあります。

特に「学報(当広報誌)」の表紙や、12-13ページの「OKIU青春白書 ～活躍する学生たち!～」に出ていただける在学生を探しています。自薦他薦は問いませんので、「表紙をかざってみたい!」「私のこんな活動を取り上げてほしい!」「あの学生がすごい!」といったトピックがありましたら、ぜひ広報課までお知らせください。教職員のみならずからの情報もお待ちしております。



#### ■ 各種メディアへの出演依頼など

大学独自で発信している広報物以外にも、テレビや新聞など各種メディアから在学生の紹介依頼が来ることがあります。その際にサポーターの学生にご協力いただくことがあります。

#### 過去の出演番組

- 「HYゴーゴーゴヤー」(OTV)、
- 「Aランチ」(RBC)、
- 「沖縄BON!!」(RBC)など



少しでも気になる内容があった方は、ぜひ下記の窓口で登録して下さい。登録された皆さんのスケジュールを優先しますので、参加出来ない場合などは事前に調整可能です。学科・出身高校など考慮した上でサポーターを選出しますので、ご期待に添えない場合もあります。

● サポーター登録窓口 [広報課]場所:本館4階

TEL:098-893-7629

E-mail: pubchr@okiu.ac.jp

PICKUP! OKIU EVENT 2019

# 体育祭

5月7日(火)

体育祭は、大学全体が学部学科・学年等の垣根を越え親睦を深める目的で毎年開催されています。毎年学生有志の実行委員会が企画・運営の全てを担います。学科や学年を越えて交流が盛んな沖縄国際大学を象徴するようなイベントです。



## Event Guidance

12月 26日(水)～1月 3日(木)	冬期休業
1月 4日(金)	後期後半講義再開
1月 19日(土)～1月 20日(日)	大学入試センター試験
1月 25日(金)～2月 9日(土)	後期試験・補講期間
2月 1日(金)～2月 2日(土)	一般入試(前期)／特別・編入(後期)試験
2月 3日(日)	大学院2月入試
2月 9日(土)	後期講義終了
2月 12日(火)～3月 30日(土)	春期休業
2月 25日(月)	本学創立記念日
3月 2日(土)	一般入試(後期)
3月 6日(水)	再試験(3月卒業)
3月 15日(金)	卒業式
3月 17日(日)	春のオープンキャンパス
4月 1日(月)	入学式、第1回新入生・編入生オリエンテーション
4月 2日(火)～4月 5日(金)	在学生オリエンテーション、前期科目Web仮登録期間
4月 3日(水)	第2回新入生オリエンテーション
4月 8日(月)	前期講義開始
4月 8日(月)～4月 13日(土)	前期・通年科目登録調整期間
5月 6日(月)	出校日
5月 7日(火)	体育祭(休講)

★大学公式SNSでは随時情報を発信中です。LINE@では入試広報関連情報を、InstagramとTwitterでは大学構内の風景やキャンパスライフを、Facebookでは保護者や卒業生向けの情報を中心に更新しています。ぜひ一度ご覧になってみて下さい。

OKIU SNS\*



LINE@

@okikokudai



Instagram

@okikokudai\_pr



twitter

@okikokudai\_pr



facebook

@OKIU.PR

事務局広報課 | 〒901-2701 沖縄県宜野湾市宜野湾2-6-1  
TEL:098-893-7629  
Email: pubchr@okiu.ac.jp

印刷 | 株式会社近代美術



平和・共生 個性・創造 自立・発展



【沖縄国際大学 学報 第111号】  
2018年12月25日発行